

1 みんなで進める住みよいまちづくり

施策	地区	意見	市からの回答
(1) 地域コミュニティの充実に実を図る	神崎	最近、自治会を辞める人が多い。自治会に入るとこれだけのメリットがあるというものがないと、ますます退会する人が多くなると思う。	市も危機意識を持った上で、自治会加入、コミュニティの維持について、当事者として真剣に自治会の皆さんと考えて、知恵を出して進めていく姿勢が大事だと考えています。
	神崎	最近、越して来た方があいさつに来たが、役所に住民票を移したときに、自治会に入るように言われたかと質問したら、「何も言われていない」ということだった。窓口ではそれなりの対応をしてほしい。	市では、「自治会に入ってください」とお願いする取扱いになってはいますが、まだ不十分なようです。自治会に入っただくような勧奨を積極的に進めていきます。
	菅谷	家を建てれば、市役所に行くだろうから、その時は、「是非、自治会に入会してください」と。これをお願いしたい。	自治会の加入については、市も当事者意識を持った上で、一緒になって取り組む姿勢で臨むことが肝心だと考えています。
	菅谷	自治会の境界が全然分からなくなりました。	ご意見として承ります。
	菅谷	菅谷地区には、コミュニティセンターがない。三つくらいは最低でも必要だと思う。	四中のコミュニティセンターについては、総合計画への位置付けが必要であると考えています。
	菅谷	防犯灯などの費用は、自治会員が負担している。不満の声も出ているので、抜本的な解決策を考えてもらいたい。	担当部局ともよく協議・検討させていただきます。
	菅谷	菅谷地区は、3校区ありながら、コミュニティセンターが一つもない。もう少し行政の方でも考えてもらいたい。	四中のコミュニティセンターについては、検討委員会を開催していると伺っています。来年には、建設委員会が立ち上がり、用地取得、実施設計という流れで進んでいくものと認識しています。
	菅谷	自治会長の所に一度顔を出すようにと声掛けをしてもらえると、アパートに入っている人たちも、自分がどこの自治会で、どの人が自治会長か分かるし、自治会長と入った人のコミュニケーションになるのではないか。	
	五台	自治会の加入率がだんだん厳しくなっている。加入率の向上に力を貸してもらいたい。	あきらめないで、活動を継続して、根気強くやっていく。市も責任をもって考えていく。自治会やまちづくり委員会の皆さんと一緒に考えていくということをしていかなければならないと考えています。
	五台	一人暮らしの高齢者が増えている。自治会に入れば、電球交換作業をしますよというような関連付けを増やせば、一つの解決策になると思う。	
	五台	まちづくり委員会の考えを真摯に受け止めて、改善すべきはすべき、できないものはできないとハッキリ言った中で、まちづくりを進めてもらいたい。	
	五台	自治会に入るメリットとデメリットが具体的にあれば、勧誘も進めやすいと思う。	
	五台	民生委員の問題とか、農業委員の問題とか。区長制度のときは、言われたことをやっていればよかったが、急に自分たちで決めるのかと。そういうのは困ります。	市も当事者としての意識を持った上で、手を携えてやっていくという姿勢が大事だと考えています。
芳野	少しずつ自治会の組織率が下がってきて、入る人よりも退会する人の方が多い。このまま10年、20年経ったら組織率が5割を切るんじゃないかという声が聞こえてくる。	自治会やまちづくり委員会の活動を積極的に発信し、市民の方に共感していただく。粘り強く継続的にそういう取り組みを進めていく。市も皆さんと一緒に進めていくことが必要だと考えています。	

施策	地区	意見	市からの回答
	瓜連	コミュニティセンターや分館など、集会所に対する施策が充実していない。補助金も3万円しか出ていない。そういうところへの取り組みを強化してほしいと思う。	どのような形で財源を配分できるか、考えていきます。
(2) 誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを推進する	神崎	人口が減少するときに、那珂市として近隣市町村とどのようなつば競り合いを行うのか。その辺を加味して計画化してもらえればありがたい。	一言で言えば、生活する場として位置付けていく。安心・安全を確保した上で、住みやすい地域としての那珂市を目指していくべきだと考えています。
	額田	茨城県の知名度は47位だ。その中の那珂市なのだから、インパクトのあるものをやらなかったら目立たないと思う。	那珂市は那珂市として、独自性を発揮して、那珂市に合った施策をやるべきだと考えています。
	菅谷	隣が空き家だと、植木がぼうぼうになって冬に火を付けられたりすると恐ろしいと思う。	まずは、指導・勧告をしながら、是正命令をした上で、最終的には代執行に移すような仕組みを作ることが大事だと考えています。
	菅谷	危険な空き家について、自治会長の皆さん言っているのだから、地域住民から出ているということで、把握してもらえればありがたい。	空き家対策については、早急に進めてほしいというご意見があったということで、承ります。
	五台	高齢者が歩いて買い物に行ける場所があるとよい。その近くに自由にコーヒーを飲めるスペースがあって、話ができる場所があるとよい。自治会単位でそういうものがあると、デマンド交通よりも住みやすい形になるのではないかな。	高齢者の外出機会が大切だということ、介護予防の観点からも言われています。地域の中で高齢者が自由に集まれる場所をつくるという施策は重要になると考えます。行政ばかりではなく、地域の組織でこれを運営する。空き家を活用することも可能性としてはありますので、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
	戸多	もっと若い人に住んでもらえるよう、何か活性化してくれないと、20年後どうなるか、すごく不安だ。	高齢化が進んだ中で、菅谷地区のように利便性の高いところと縁辺部をどのようにしていくかということを考えながら第2次総合計画を作っていきます。
	芳野	空き家をコミュニティで活用できないか。例えば、高齢者がお茶を飲みに行けるようにするとか、一人暮らしの高齢者が入所できる施設にすればよいと思う。	いわゆる地域の「たまり場」として、地域の方が気軽に集まれて、話ができるような場所も必要だと考えます。そういう中で、空き家の利活用をどのように進めていくか考えていきます。
	芳野	茨城県全体の健康寿命は、全国でも一桁に入る。那珂市の健康寿命はどうか。その辺をPRすると、那珂市に住んでみようとなるのではないかな。	基本計画の中でどのような書き込みができるか検討させていただきます。
(3) 市民との協働によるまちづくりを推進する	五台	市民との協働では、市民がボランティア的な活動ができる環境や財政的な補助を強力に進めてもらいたい。	第2次総合計画においても重要な施策になりますので、どのような形で支援ができるか考えていきます。
	戸多	市役所に話をすると、たらい回しにされるケースがある。「それはうちの課じゃないから分からない」と終わってしまう。	そういう場合は、市民相談室にお問い合わせいただければ、担当課とコンタクトを取った上で対応させていただくことも可能です。いずれにしても職員がきちんと対応できていないということですので、しっかり対応していきます。
	瓜連	こういう集まりが前回の総合計画のときもあったが、我々の言っていることが活かされているということが目に見えない。総合計画のこういうところに活かされた、良くなったということが実感できれば、皆さんもここにきて発言すると思う。	市では、市民との協働のまちづくりを重要なことと考えていますので、市民の皆さんに施策などを分かりやすく情報提供し、情報を共有しながらまちづくりを進めていくという姿勢が大事であると考えています。

施策	地区	意見	市からの回答
	瓜連	まちづくり委員会で各自治会長から事業要望等を聞いて、持ち上げていくような段取り、方法を講じてもらわないと、私共の声が総合計画に反映されないという心配がある。	道路や下水道などのインフラ整備に関し、各部局で地区まちづくり委員会と協議をして、優先順位の話し合いをさせていただけるのであれば、ありがたい話だと考えています。
(4) 互いに尊重し合う社会の形成を図る		(特になし)	

2 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策	地区	意見	市からの回答
(1) 災害に強いまちをつくる	芳野	那珂三中は避難場所になっているが、体育館に毛布などの避難グッズがあるのかと聞いたら、一切ないという話だ。避難所として実際には使えない状況にある。	拠点避難所については、毛布やストーブ、非常用の食糧等を備蓄しています。災害があった時は、まず拠点避難所を指定する形で対応していきたいと考えています。
	木崎	那珂市には核融合施設があるが、これに対する対応や対策が、どこの項目にも見受けられない。	原子力防災に関しては、避難計画を策定中です。災害に強いまちづくりの中には、原子力災害も含め、諸々のことが施策に取り込まれ、進められていくこととなります。
	瓜連	自主防災だからといって、1回きり何十万円かのお金を与えて、あとは自分たちでやりなさいとなっている。	自主防災組織については、市の方でも、重点的に結成をお願いしてきた経緯がありますので、維持管理については、検討している最中です。
	瓜連	北茨城での防災体験案内が自治会長宛てに来たが、バスは出しません、個人的に来てくださいというのは、どうかと思う。	ご意見があったことは、防災課の方に伝えておきます。
	瓜連	東日本大震災の時に消防団で団地を回ったが、消防署などへ連絡する方法がなかった。けが人が出なかったから良かったが、何らかの方法で連絡を取れるようにできないか。	災害時の地域と消防署、市役所の本部との連携・連絡のネットワークづくりは重要ですので、検証させていただきます。
(2) 犯罪を防ぐまちをつくる	額田	「犯罪を防ぐまちをつくる」とあるが、これは警察ではないかと思う。	市には防犯協会という組織があります。青少年犯罪も含めて、地域の中で犯罪をなくしていくことを進める必要があると考えます。
	芳野	街灯は自治会の管理であることは分かっているが、いつまで経っても数が増えない。犯罪の少ないまちをつくらうということであれば、夜も明るいまちにしてみたい。	安全・安心の観点からも重要な施策であると考えていますが、予算の関係がありますので、ご要望として承ります。
	芳野	防犯灯の設置要綱におおむね50mと書いてあるが、私の自治会の場合、50m間隔で付けていくと今の3倍必要だ。少し予算を増額できないか。	
(3) 交通安全を推進する		(特になし)	
(4) 健康で快適に過ごせる生活環境の保全を図る		(特になし)	
(5) 地球にやさしい持続可能な社会への転換を図る		(特になし)	
(6) 利便性の高い交通基盤を整える	額田	やはり、道路だ。11本も可決されているので、1本だけでも、どこからでもいいから、何か実を一つほしい。	
	額田	本米崎にあるスマートI.C.を本格的なインターチェンジに移行してほしい。それにより、北部地域が活性化すると思う。	スマートI.C.については、財政負担が発生するので、厳しい問題だと考えますが、引き続き、東海村と話し合いを進めていきます。
	額田	額田や本米崎は東海村に隣接している。避難道路という性格も含めて道路を整備してほしい。	
	額田	額田になんとか、道路1か所でもいいので、整備してほしい。	道路の整備については、額田地区の総意として承りました。

施策	地区	意見	市からの回答
	菅谷	なぜ土日にひまわりタクシーやひまわりバスが通っていないのか。これから高齢化が進み、免許を返す人が多くなる。そういう人たちが土日でも買い物などに行けるよう進めてほしい。	公共交通については、水戸市を中心とした県央地域9市町村で構成する定住自立圏の中で、広域的な利用ができないか協議を始める予定です。土曜日に診療している病院もありますので、財源の問題はありますが、どのような形で運行ができるか検討させていただきます。
	五台	唯一の交通機関であったバスがなくなってしまった。通院なり、いろいろな面で支障があると聞いている。	公共交通については、広域的な利用ができないか、水戸市を含め、様々なところと協議を開始しようとしているところです。第2次総合計画の中でも、利便性の高い公共交通機関を目指していかなければならないと考えています。
	五台	那珂I.C.から降りると道がせまい。西部工業団地に企業を誘致しようとしたときに、道路を片側2車線にしないと大型トラックも通れない。	那珂I.C.までの飯田線については、市道ですが、市で整備するには莫大な費用が掛かるため、4車線での整備ができなから県に要望しているところです。
	戸多	若宮のカーブについて、危険な状態が何十年も放置されている。また、下江戸の道路が段差になっていて、軽トラックやダンプが跳ね上がっている。	市道に関しては、市役所の土木課にご連絡ください。県道であっても、土木課から大宮土木の方に話をすることができますので、市役所の方にご連絡ください。
	芳野	118号は農機具が通るのには危険だ。そのため、裏通りに出るのだが、昔のままの道路は、土が溜まっていて農機具でも通れない。	生活環境の整備は、人口の移住・定住に関しても重要な要素ですので、計画的に整備を進めていきます。
	芳野	消防車や救急車が入れない道路は、優先的に整備してほしい。	
	瓜連	土木課と打ち合わせがあったときに、道路整備の順番があつてないような順番になっていた。役所をお願いをしたときに「予算の範囲なので」と言われると、それ以上どうしようもない部分がある。	道路予算については、極力確保する形で調整していますが、それでも十分ではないのが現実です。市民の皆さんのご理解をいただきながら、バランスよく、順番に進めざるを得ないという厳しい財政状況にあります。
(7) 自然環境を活かした機能的な都市づくりを推進する	額田	区域指定で、14か所決まったのはよく分かるが、その中でモデル地区を、額田にほしい。	
	額田	集落の維持ということからすれば、現在のインフラをそのまま維持していかないと区域指定をしても意味がない。	
	菅谷	区域指定制度は、都市計画法の11号の方、市街化区域の1km以内を指定した方が費用対効果があり、税収も上がると思う。	1km以内を指定すれば、税収が増える可能性はあるかもしれませんが、まだまだ宅地化できる土地があるにもかかわらず、市街化区域が外に広がることになると、市街地が間延びする可能性もあります。
	菅谷	なぜ小学校を廃止して、区域指定制度という施策をやるのだと。逆に、その施策をやって、どうしても張り付かないので、小学校を廃校にするのではないかという声がある。	市街地の整備をしながら、市街化区域の中に人口を張り付けていき、併せて、縁辺部については、既存集落の維持保全を図るという考えです。そして、中心地と縁辺部を公共交通ネットワークで結び、市全体のまちづくりをしていくという考えです。
	菅谷	市街化区域では宅地を促進するが、充足率がわずか50%に満たない。少なくとも、菅谷の中に、まだまだ事業費を投入すべきではないか。	瓜連地区にも市街化区域はありますので、既存の市街化区域の中の整備を進めながら、人を呼び込む施策を展開していきたいと考えています。

施策	地区	意見	市からの回答
	五台	上菅谷駅の橋上化。夢かもしれないが、大きな希望を市民に与えるような政策が必要ではないかと思う。	
	芳野	区域指定制度の導入で、前から住んでいる人と新しく住む人との意見の相違が出てくる。協調できるような取り組みをどうするか。まず人を呼ぶことが大事だと思うので、基本構想の中で考えてもらいたい。	仕事や子育て支援、住宅要件の緩和など、諸々の施策を抱き合わせていく形で、総合計画の中で、より具体化していきたいと考えています。
(8) 安定的に水道水を供給する	菅谷	ほかの地区から移動してきた人に「水道が一番高いのは那珂市だ。なぜ高いのか」と言われる。	那珂市の水道料金は県内で中位です。水道は後から整備した所ほど高いので、他市町村と比較すると高いと言われるかもしれませんが。
(9) 効率的に生活排水を処理する	芳野	公共下水道の区域ではあるが、いろいろな人の意見を聞くと30年先の話だと聞いた。下水の問題は早急に解決してもらいたい。	東日本大震災の影響で大幅に整備が遅れていますが、今年度、下水道審議会が開催されたようですので、その中で整備手法や財源の問題も含めて議論が進んでいくものと考えています。
	芳野	今の生活環境では、下水は必須だ。大変だと思うが重点施策としてほしい。	

3 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり

施策	地区	意見	市からの回答
(1) 安心して子どもを産み育てられる環境を整える	額田	小学校に入る子どもが少ないのだから、かばんの一つくらい市で寄付してもよいのではないか。	ご要望として承ります。
	戸多	戸多地区の少子化もしかりだが、私が住んでいる下江戸は直近10年間で23%減少して、那珂市でナンバーワンだ。	少子化の問題については、第2次総合計画の10年間においては、かなり重点的に取り組んでいく施策になります。
	芳野	子育てをしている人、高齢者、障がい者が相談できる体制を強化・充実する。そのためには、職員の教育と民間の活用が重要だと思う。	
	瓜連	アンケートに「将来どのようなまちになってほしいか」とあるが、一番多いのが子育てだ。こういう人の思いをどのようにして吸い上げ、行政に活かしていくか。それが住みやすいまちにつながると思う。	市でも、保育所や学童保育の定員枠の拡大、医療福祉制度の所得制限の撤廃、住宅助成制度の導入といった取り組みを始めたところです。区域指定制度も含め、トータル的に進めていきます。
(2) 高齢者がいきいきと暮らせる環境を整える	額田	2025年には団塊の世代が後期高齢者になる。そういうものの対策が具体的に見えない。	地域の中で、高齢者が健康的に過ごせる、生きがいを持って過ごせるような取り組みを進めていなければならぬと考えています。
	額田	シルバー人材センターの内容を改善して、盛り上げていかないとダメだと思う。	自主的な事業も積極的に取り組んでいかなければならぬと考えています。
	五台	高齢者の買い物などに不便さがある。人口減や高齢化に伴った対応を考えていかなければならぬと思う。	人口が減る中、高齢化が進む中でその那珂市の状況を踏まえ、各種施策を位置付けていかなければならぬと考えています。
	五台	高齢者クラブに対する補助金のカット。高齢者を大事にすると常に言っている中で、その辺の見直しはできないのか。	担当部局の方に、ご意見があったことをお伝えします。高齢化社会において、どのようにすれば、高齢者が地域の中でいつまでも元気に暮らしていけるかということは、総合計画に落とし込んでいく必要があると考えています。
	瓜連	高齢者クラブに相当する団体が減ってしまった。市のバスは使えない。資金繰りも非常に負担だ。高齢になると移動手段が難しい。そういうことを少しまとめて、主体的に進めてほしい。	高齢化が進む中で、高齢者がいつまでも生きがいを持って地域の中で暮らしていける施策をどのようにつくり上げていくかを保健福祉部と考えていきます。
	瓜連	市では予防介護サービスを導入して、健康寿命を伸ばそうとしているが、具体的にどのようにやるのかということを示して、市が積極的に進めれば、我々もそれに沿って対応していきたい。	市では、地域包括ケアシステムをつくり上げます。大きな方向としては、医療と福祉の連携という形で進めることとなります。
	瓜連	高齢化が深まる中で、65歳くらいまでは再任用という流れがあると思うが、高齢者も含めて、市の中に働く場所をつくるということを強く進めてもらいたい。	仕事ばかりではなく、地域活動やボランティア、趣味など、高齢者の方が自分の生活スタイルに合った形で希望が叶えられるような社会にするためにはどうすればよいか。施策をつくり上げていく必要があると考えています。
	瓜連	高齢者がいきいきと暮らせる社会をつくる場合、受け皿になるのは、高齢者の組織だ。高齢者の組織化のためのマニュアルがあれば示してほしい。	担当課の方にお伝えします。高齢者の方がいきいきと地域の中で生活していくためには、幅広く、様々な活動ができるような体制や環境をつくっていくことが大事であると考えています。

施策	地区	意見	市からの回答
(3) 障がい者が地域社会で安心して暮らせる環境を整える		(特になし)	
(4) 家庭や地域で支え合う福祉環境を整える	五台	貧困者とか、難しい人に対して、社協が中心でいろいろやっているが、かなり重い仕事になっている。それを将来は、民間移行する。社協に偏らず、視野を広げて柔軟に対応してはどうか。	民間の非営利組織を活用していくことは、今後10年間の中では、非常に重要なことだと理解しています。
(5) 適切な医療が受けられる環境の充実を図る		(特になし)	
(6) 健康で生きがいをもって暮らせる保健体制の充実を図る	木崎	健康寿命が大事だ。自転車は誰でも乗れるので、サイクリングロードを整備すれば、非常に有効ではないか。	健康寿命に関する施策も第2次総合計画の中で考えていきます。

4 未来を担う人と文化を育むまちづくり

施策	地区	意見	市からの回答
(1) 豊かな心を育む学校教育の充実を図る	額田	平成30年からの10年間で一番大きな課題は、学校統合問題だと思う。そういう問題をどうするのか、小規模校でも残していくのか、指針を示してほしい。	
	額田	区域指定をした以上は、小規模校を存続させる部分を盛り込んでほしい。	小規模校であっても、特色を出して、学区外から子どもを入学させている例もあるようです。具体的には、学校の適正規模化基本計画の中で議論すべき内容ではないかと考えます。
	菅谷	小学校がないところに人が移ってくるのか。どんな形でも学校がないと、住民は移らないと思う。	小学校が閉校になった地区からも「小学校がない所に移り住むことはないでしょう」と言われました。閉校になった地域の方は、小学校が大きな役割を果たしていることを実感として感じていると考えています。
	戸多	通学の面を考えると、冬だけでもバスを出すとか、子育てをするのに弊害がないよという案があれば、お願いしたい。	ご要望として承ります。
	戸多	自転車で通学する時代は終わると思う。自転車が1台8万円くらい掛かるそうなので、子どもを持つ各家庭が8万円を出したら、通学バスの運営費くらいペイできるのではないか。	
(2) 未来を担う青少年の健全育成を図る	戸多	昭和40年当時から、青少年相談員が発足したらしいが、子どもの数だけ見ても、相当減少している。子どもの数に対して相談員の数が決まると思うが、今まで一度も検証されていない。	生涯学習課にご意見をお伝えしておきます。
	戸多	廃校になった小学校を「ふるさと教室」に利用するなど、トータル的な施策をなぜ打ち出せないのか。	ふるさと教室については、郷土愛やふるさとの誇りを持ってもらう仕掛けが必要だろうということで、若干メニューの手直しをしたところ です。
(3) 生涯にわたり学ぶことができる環境を整える		(特になし)	
(4) スポーツを身近に感じ親しめる環境を整える	戸多	戸多の良さを利用して、活性化できるようなアイデアを市も真剣に考えてもらいたい。	那珂西大橋の所には、河川敷を利用したグラウンドを整備する予定です。戸多地区は、そうした施設を拠点にして、人が行きかうことができる地域ではないかと考えています。
	戸多	体育館を使ってクラブ活動をしているが、洋式トイレがないので、女性や高齢者が途中で帰ってしまう。体育館に洋式トイレを付けてもらえないか。	今回の旧戸多小学校体育館の改修には、トイレの改修は入っていません。ご要望として承ります。
	木崎	茨城国体があるが、那珂市には泊まる場所が無い。スポーツ面や文化面で、那珂市に宿泊することができればいいと思う。	人の行き来があつたり、観光の振興が図れたり、様々な形でホテル需要が出てくればよいと考えています。
(5) 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る	木崎	木崎地区には、遺跡や寺院、神社などが多くある。そういうところを整備して、文化に貢献できればよいと思う。	那珂市は、神社仏閣が数多く存在している所でもあります。そういう物を後世に保存・継承していくとともに、活用していくことが大事であると考えています。
(6) 多様な文化と交流する機会の充実を図る		(特になし)	

5 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり

施策	地区	意見	市からの回答
(1) 活力ある農業の振興を図る	戸多	高齢化による農業の衰退により、耕作放棄地が増えている。10年経ったら、ほとんど原野になってしまうのではないかと心配している。	市としては、基盤整備の推進と農地の集約化、兼業農家も農業をしていける環境づくりなど、農業に従事する方を増やす施策を展開していますが、なかなか効果が上がらないのが現状です。
	芳野	農業法人を誘致すれば、雇用にも結びつく。また、若い人で農業をやりたい人を全国から呼ぶ。そういうことを発信しなければならぬと思う。	農業法人も含め、農地を集約して耕作していただく。併せて兼業農家も重視する。また、那珂市には、農水省の就農給付金を活用して畑作をしている若い方もいますので、そのような方を増やしていくことも必要ではないかと考えています。
	芳野	工業団地のように行政が農地を集約して、かんがい用水とかを整備した上で、大手企業にアグリビジネスの展開を勧めてはどうか。	農業公社をつくり、農業経営に取り組む市町村もあるようです。
	芳野	TPPの条約批准がどうなるかもあるが、ドラスティックに農業を変えていかないといけない。	市町村として取り組めることにも限界がありますが、いずれにしても大事な施策ですので、十分検討させていただきます。
(2) 地域に活力をもたらし商工業の振興を図る	額田	那珂インター周辺の開発という立派な構想を立てて、進めるということになっているが、一つも手を付けていない。	那珂インター周辺の開発については、様々な経緯があり、一時休止している状況です。市が整備をして企業誘致を図るような手法は難しいですが、民間での開発の動きがあれば、土地利用の可能性が出て来るものと考えます。
	額田	国では1億総活躍社会を打ち出しているが、市でもシルバー人材の有効活用とか、女性の雇用の創出のようなことを重点的に取り組んだ方がよいと思う。	11月には、女性を対象とした就職相談会が始まったところです。雇用に関しては、ハローワークや労働局と連携しながら進めていく必要があると考えています。
	額田	(西地区のガス発電所について)地下には都市ガスが入っているのに全然使えない。どういう仕事をしているのか。	産業用なので、一般住民の方は使えません。しかし、インフラが整備されれば、企業誘致にもつながりますし、税収が増えれば、最終的には市民の方に還元できると考えています。
	五台	企業誘致を図り、若者の雇用を生み出すことが大事だ。固定資産税を安くするなど、アメをぶら下げる必要があると思う。	企業誘致については、タイムリーな情報をいかにつかみ、マッチングさせるかがポイントになると考えます。第2次総合計画では雇用の場の確保が重要になりますので、女性や学生向けの就職相談会、インターンシップなどを取り入れていきたいと考えています。
	木崎	那珂核融合研究所に大学の研究室を誘致できれば、ミニつくば市のような構想ができるはずだ。	2019年には、JT-60SAという改造型が出来ますので、研究者が那珂市に来て、往来が生まれると予想されています。そうした機会をとらえて、活かしていかなければならないと考えています。
	木崎	高速を降りたときに、例えば、道の駅とか、中継するような所が那珂市には無い。	道の駅については、現在、具体的な計画はありません。那珂インターは、自動車の玄関口でありますし、その周辺は、ポテンシャルの高いエリアではないかと考えています。
	額田	県民の森があって、下江戸には川がある。あの辺一帯を観光振興の部分で開発できないか。例えば、名産品を売るコーナーを設けたり、最近朝採れ野菜なんかもやっている。	常陸太田市では、高速バスを使って中野区に朝採れ野菜を出していますので、那珂市でも検討に値する話だと考えます。

施策	地区	意見	市からの回答
	菅谷	那珂市であれば、鳥獣センターを茨城県とタイアップして、観光地をつくるとか、額田城の小野崎氏とか、清水洞とか、そういう大きなマスタープランが必要なのではないか。	

6 行財政改革の推進による自立したまちづくり

施策	地区	意見	市からの回答
(1) 効果的・効率的な行政運営を推進する	神崎	見ていると、菅谷中心で来て、周辺の地域に対する対策がある。人口から言えばやむを得ないが、面積から言うと重要だなど。その辺の考えを明確にしてもらいたい。	人口や面積によって、施策を判断することはしていません。地域の特性に応じて、施策を取捨選択しながら、事業を実施しています。
	額田	市として何を整備していくのか、重点項目を定めて、行政を運営した方がよいと思う。	那珂市の強みが住みよさであるとするれば、日常生活をする場、定住する場としての環境の整備に重点を置く必要があると考えています。
	額田	我々が実感できるようなものに対して集中的に予算を投入することをしない限り、住んでいても変わらないのではないかと思います。	少子化対策や子育て支援、協働のまちづくり、移住・定住の促進、雇用の問題。この辺のものを第2次総合計画では、色濃く位置付けていく必要があると考えています。
	額田	中心部の菅谷に対する投資が行っていて、周辺部の旧町村が置き去りにされている感がある。柱立ての中に、地域の均衡ある発展をうたってほしい。	菅谷地区だけ重点的に投資をするという考えではありません。各地区の状況が違いますので、全体的なバランスを考えて、まちづくりを進めていくことは、当然のことだと考えています。
	菅谷	(行政評価について)ホームページを見れる人はよいが、お年寄りもいるので、ほかの手段をもう少し考えないといけない。	広報紙などで分かりやすくお知らせすることも必要だと考えますので、その辺については、十分検討させていただきます。
	菅谷	どうしても、ドーナツの周りが重視されている気がする。菅谷のことを忘れずに、やってもらいたい。	縁辺部を中心に施策を展開しているわけではありません。バランスよく、それぞれの地域特性に合った形で施策を展開しています。
	戸多	自立したまちづくりが求められるとあるが、役所に行くとき「県の話聞いてみないと分からない」という言葉が返ってくる。現状と裏腹だと思う。	地方分権一括法の成立後、かなりの権限が市に移譲されてきているので、それに対応できる職員の育成にも取り組まなければならないと考えています。
	戸多	行政は縦割り過ぎる。オール那珂市を全面に出してもらいたい。	企画部が関係課と調整をした上で、連携できるよう進めていきます。
	芳野	施策の大綱に掲げる項目はすべて大事だと承知しているが、全部をやるとなると財源的な問題があると思う。那珂市はここに力を入れるのだとメリハリを付けるようなやり方をしてもらいたい。	皆様のご意見を踏まえながら、基本計画の中の基本事業でどのような書き込みをしていくか、事業の優先付けをしていく必要があると考えています。
芳野	ほかを見ないと、自分のところの良さも悪さも分からない。職員研修を充実させ、他の地域に負けないように頑張ってもらいたい。	井の中の蛙であってはなりません。他市町村の取り組みを十分調査した上で、那珂市にとって最善の施策を決めていく。そういう手法を取っていきたいと考えています。	
(2) 健全な財政運営を図る	額田	これだけの10年間の計画を立てるとなると、すごい大変で、予算編成なんかできないと思うのだが。	基本構想で方向性を出した上で、具体的には実施計画の中で、財源と事業の調整をしながら進めていくこととなります。
	額田	那珂市は、国・県に対する要望とか、予算獲得とか。そういうものに対する動きがにぶい、積極性が無いという話を耳にする。	
	菅谷	那珂市を見ていると、財政が苦しいのかなと思う面が相当ある。何をやるにしてもお金なので、そういうところの改革も進めてもらいたい。	市としては、歳入を増やす努力をしなければなりません。企業の誘致や必要のない土地の売却などを積極的に進め、歳入を増やすことによって、道路や下水などの公共投資に予算を回していきたいと考えています。

施策	地区	意見	市からの回答
	菅谷	ふるさと納税の贈り物に工夫を凝らして、 税収の増を図ることを考えてはどうか。	那珂市のふるさと納税の返礼品は、約 100種類あります。10,000円以上寄付した 方には4割戻しており、返礼率についても 低い方ではありません。また、寄付額に応 じてポイントを付与し、カタログの中から返 礼品を受け取れる制度にしています。
(3) 多様な行政 サービスを 提供する		(特になし)	